



2020年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月14日

上場会社名 JMACS株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5817 URL http://www.jmacs-j.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植村剛嗣
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 銅傳毅 TEL 06-4796-0020
 四半期報告書提出予定日 2020年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期第3四半期の連結業績（2019年3月1日～2019年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第3四半期	3,910	7.1	28	—	35	—	51	—
2019年2月期第3四半期	3,652	1.0	△133	—	△93	—	△84	—

(注) 包括利益 2020年2月期第3四半期 56百万円 (—%) 2019年2月期第3四半期 △89百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第3四半期	10.90	—
2019年2月期第3四半期	△17.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年2月期第3四半期	8,736	4,480	51.3
2019年2月期	7,761	4,470	57.6

(参考) 自己資本 2020年2月期第3四半期 4,480百万円 2019年2月期 4,470百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2020年2月期	—	0.00	—	—	—
2020年2月期（予想）	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年2月期の連結業績予想（2019年3月1日～2020年2月29日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,756	17.0	66	—	104	—	71	—	15.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年2月期3Q	4,691,555株	2019年2月期	4,691,555株
② 期末自己株式数	2020年2月期3Q	5,571株	2019年2月期	5,506株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年2月期3Q	4,686,004株	2019年2月期3Q	4,678,410株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ（連結業績予想などの将来予想情報に関する説明）をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(会計方針の変更)	6
(会計上の見積りの変更)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中間における貿易摩擦の国内金融資本市場に与える影響や消費税増税の日本経済に与える影響等が懸念されるものの、国内の企業収益の拡大や雇用環境の改善に加え、政府の生産性革命や生産性向上のためのインフラ整備施策、人手不足対応の為の省力化設備投資により、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループといたしましては、経営方針として、1. 無駄なく 2. シンプルに 3. スピード感を持って進める。を掲げ、成長分野への投資を積極的に行い、外部との共同研究や新製品の開発に注力してまいりました。

また、更なる生産能力の向上を目的とし、新工場の建設にも着手しております。

この結果当社グループの経営成績につきましては、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,910,125千円(前年同四半期比7.1%増)、営業利益28,343千円(前年同四半期は営業損失133,233千円)、経常利益35,489千円(前年同四半期は経常損失93,114千円)、親会社株主に帰属する四半期純利益51,097千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失84,058千円)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

<電線事業>

電線事業につきましては、空調設備工事の案件等により、OEM製品を中心に全体的に出荷量が増加し、売上高3,766,937千円(前年同四半期比5.4%増)、セグメント利益179,426千円(前年同四半期比362.1%増)となりました。

<トータルソリューション事業>

トータルソリューション事業につきましては、受注案件が増加し、売上高106,791千円(前年同四半期比62.9%増)となりましたが、外部との共同研究活動等の開発コストの増加や外注費の増加により、セグメント損失123,377千円(前年同四半期はセグメント損失137,901千円)となりました。

<海外事業>

海外事業につきましては、電線案件の獲得により、売上高36,396千円(前年同四半期比174.9%増)となり、管理コストの圧縮等のコスト低減に尽力し、セグメント損失26,088千円(前年同四半期はセグメント損失34,164千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の総資産残高は8,736,023千円となり、前連結会計年度末に比べ975,001千円増加いたしました。その主な要因は受取手形及び売掛金の増加230,081千円、商品及び製品の増加68,190千円、建設仮勘定の増加931,739千円、現金及び預金の減少161,140千円、電子記録債権の減少40,925千円、建物及び構築物の減少52,747千円等によるものであります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末の負債残高は4,255,919千円となり、前連結会計年度末に比べ965,295千円増加いたしました。その主な要因は1年内返済予定の長期借入金の増加29,375千円、賞与引当金の増加48,167千円、長期借入金の増加1,296,109千円、短期借入金の減少450,000千円等によるものであります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の純資産残高は4,480,103千円となり、前連結会計年度末に比べ9,705千円増加いたしました。その主な要因は剰余金の配当による減少46,860千円、親会社株主に帰属する四半期純利益51,097千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月期の連結業績予想につきましては、2019年4月12日に発表した内容から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	511,541	350,400
受取手形及び売掛金	1,694,471	1,924,553
電子記録債権	274,813	233,887
商品及び製品	307,053	375,244
仕掛品	108,214	129,973
原材料及び貯蔵品	319,950	322,436
その他	40,018	28,268
貸倒引当金	△1,077	△1,094
流動資産合計	3,254,985	3,363,671
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,011,472	958,724
機械装置及び運搬具(純額)	136,945	119,834
工具、器具及び備品(純額)	15,184	15,698
土地	1,045,837	1,045,837
建設仮勘定	498,730	1,430,469
その他	5,031	4,184
有形固定資産合計	2,713,202	3,574,749
無形固定資産		
投資その他の資産	6,736	5,148
投資不動産(純額)	1,582,313	1,581,211
その他	203,783	211,242
投資その他の資産合計	1,786,097	1,792,454
固定資産合計	4,506,036	5,372,352
資産合計	7,761,022	8,736,023
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	498,153	502,084
電子記録債務	444,382	452,765
短期借入金	1,200,000	750,000
1年内返済予定の長期借入金	680,000	709,375
未払金	82,725	100,521
未払法人税等	—	8,422
賞与引当金	21,962	70,130
その他	79,523	63,350
流動負債合計	3,006,748	2,656,650
固定負債		
長期借入金	—	1,296,109
退職給付に係る負債	102,119	121,404
役員退職慰労引当金	147,616	147,616
その他	34,140	34,140
固定負債合計	283,876	1,599,269
負債合計	3,290,624	4,255,919
純資産の部		
株主資本		
資本金	647,785	647,785
資本剰余金	644,838	644,838
利益剰余金	3,144,352	3,148,589
自己株式	△2,636	△2,659
株主資本合計	4,434,338	4,438,553
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37,016	44,140
為替換算調整勘定	△957	△2,590
その他の包括利益累計額合計	36,058	41,550
純資産合計	4,470,397	4,480,103
負債純資産合計	7,761,022	8,736,023

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第 3 四半期連結累計期間)

(単位 : 千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 2018年 3月 1日 至 2018年 11月 30日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 2019年 3月 1日 至 2019年 11月 30日)
売上高	3,652,419	3,910,125
売上原価	2,918,406	2,986,127
売上総利益	734,013	923,998
販売費及び一般管理費	867,247	895,654
営業利益又は営業損失 (△)	△133,233	28,343
営業外収益		
受取賃貸料	50,638	50,621
その他	5,027	8,150
営業外収益合計	55,665	58,771
営業外費用		
支払利息	7,029	13,282
賃貸収入原価	6,943	6,812
借入手数料	—	28,507
その他	1,573	3,023
営業外費用合計	15,546	51,626
経常利益又は経常損失 (△)	△93,114	35,489
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失 (△)	△93,114	35,489
法人税、住民税及び事業税	4,016	5,018
法人税等調整額	△13,072	△20,626
法人税等合計	△9,056	△15,608
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△84,058	51,097
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失 (△)	△84,058	51,097

(四半期連結包括利益計算書)

(第 3 四半期連結累計期間)

(単位 : 千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 2018年 3 月 1 日 至 2018年11月30日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 2019年 3 月 1 日 至 2019年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△84,058	51,097
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,479	7,124
為替換算調整勘定	△965	△1,632
その他の包括利益合計	△5,445	5,491
四半期包括利益	△89,503	56,588
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△89,503	56,588

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日) を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年3月1日至2018年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電線事業	トータルソリ ューション 事業	海外事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,573,623	65,558	13,237	3,652,419	—	3,652,419
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,005	2,513	1,432	5,950	△5,950	—
計	3,575,628	68,072	14,670	3,658,370	△5,950	3,652,419
セグメント利益又は損失 (△)	38,832	△137,901	△34,164	△133,233	—	△133,233

(注)1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年3月1日至2019年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電線事業	トータルソリ ューション 事業	海外事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,766,937	106,791	36,396	3,910,125	—	3,910,125
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,537	1,114	850	10,501	△10,501	—
計	3,775,474	107,906	37,246	3,920,627	△10,501	3,910,125
セグメント利益又は損失 (△)	179,426	△123,377	△26,088	29,960	△1,616	28,343

(注)1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。